

副産物情勢

平成29年9月4日 更新

「A全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																								
1.内臓	<p>①国産牛</p> <p>○平成29年7月成牛と畜頭数は、90.0千頭(前年比100.2%)となり、ごくわずかであるが28ヶ月ぶりに前年を上回った。内訳を見ると、和牛40.2千頭(前年比100.2%)、交雑牛20.7千頭(同109.7%)、乳牛去勢15.9千頭(同96.3%)であった。和牛はほぼ前年並み、乳牛については出荷頭数減少傾向が継続している実態を反映した数値となった。</p> <p>○平成29年8月の成牛と畜頭数は、速報値(8/31まで集計)で77.4千頭(前年比93.2%)と減少している。</p> <p>○(独)農畜産業振興機構が8月25日に公表した牛肉の需給予測によると、9月は、出荷頭数およびと畜稼働日数が前年を下回ることから、生産量はわずかに下回ると予測している。</p> <p>○品種別の出荷予測について、和牛は、飼養頭数が回復傾向にあることも影響し、8月は前年をわずかに上回り、9月は前年並みと見込んでおり、交雑種は酪農家における乳用後継牛への黒毛和種交配率の上昇により増加が見込まれる一方で、乳用種は減少が継続すると見込んでいる。</p> <p>○需要動向については、全体的によく動いている。レバーを含む赤モノは依然不足気味である。シロモノは小腸がまだ動かず、シマチョウは焼モノ需要が落ち込んできて動き鈍くなってきた。ミノは輸入モノの値上がりにより国産品の需要が増えてきている。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月6日</td> <td>40/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*豚正貴物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg			
		価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																						
		平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																						
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																								
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																								
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																								
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																								
平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg																								
<p>②国産豚</p> <p>○平成29年7月度全国の肉豚出荷頭数は1,230千頭(農林水産統計8/31公表 前年比98.5%)となった。農水省6月26日発表の7月出荷予測では、1,238千頭(前年比99%)と予測されていたとおり、前年を下回る結果となった。</p> <p>○平成29年8月の全国と畜頭数は、速報値で1,211千頭(8/31まで集計)、前年同比92.4%となっている。稼働日数では昨年と同じ20日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で60,565頭となっている。</p> <p>○農水省食肉鶏卵課平成29年8月29日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成29年9月1,359千頭(同100%)10月1,441千頭(同105%)、11月1,483千頭(101%)、12月1,515千頭(102%)、1月1,420千頭(102%)、2月1,310千頭(100%)となっている。</p> <p>○需要動向について、アカモノは全体的に動きよい。特にハツ・ガツは加工原料で不足気味。しかし、レバーの動きはよくない。シロモノも全体的に動きよい。小腸がコンビニ需要の影響か、動きがよくなってきた。10月以降在庫がタイトになる予測である。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年5月30日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																								
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																								
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																								
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																								
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																								
平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg																								
<p>③輸入牛</p> <p>○平成29年7月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で56.4千ト(前年比97.6%、前月比112.5%)であった。内訳は、チルドが22.0千ト(前年比104.7%、前月比94.3%)、フローズンは34.4千ト(同93.5%、同128.2%)であった。チルドビーフについては、豪州産が10.0千ト(前年比94.5%)と前年を下回ったが、米国産は11.1千ト(同115.6%)とかなりの程度増加した。</p> <p>○(独)農畜産業振興機構が8月25日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、豪州産は出荷頭数の減少により減少が見込まれる一方で、米国産は出荷頭数増により増加が見込まれることから、8月、9月ともに前年を大幅に上回ると予測している。</p> <p>○平成29年7月の冷凍輸入牛レバーは129.3ト(前年比126.1%・前月比77.9%)であった。国別では米国100.4t、豪州25.4tであった。冷凍輸入牛腸は1,266.3ト(前年比74.4%・前月比70.5%)であった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,500/枚</td> <td>180/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																								
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																								
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																								
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																								
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																								
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																								
平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚																								
2.原皮	<p>①牛原皮</p> <p>○平成29年7月の輸出実績は、27,535枚(前年比145.3%、前月比90.6%)で、前年を上回った。輸出平均価格は4,914円/枚(前年比-445円、前月比-271円)と減少となった。国別実績は、韓国10,825枚(前年比120.9%)、タイ12,310枚(同140%)、香港3,200枚(前年なし)、ベトナム1,200枚(同54.6%)、インド・台湾は実績なし。一方、ウェットブルーの輸入は、54.0千枚(前年比71.8%、前月比126.8%)、牛大判皮は45.0千枚(前年比111.8%、前月比96.0%)となった。</p> <p>○輸出動向は数量について、回復傾向にあったが伸び悩んでいる。価格について昨年末に底打ち感があり。その後、徐々に上昇傾向であったが、ここにきて頭打ちから下げとなった。依然、国内・海外のタンナーとも在庫が山積しており回復傾向とは言い難い。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,800/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚
	価格改定年月日		牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																						
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																								
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																								
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																								
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																								
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																								
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																								
平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚																								
<p>②豚原皮</p> <p>○平成29年7月の輸出合計は、1,094,370枚(前年比105.5%、前月比90.9%)と、前年を上回った。輸出価格は814円/枚で前年比+97円、前月比-6円であった。国別実績は、台湾205千枚(前年比72.4%)、タイ822千枚(同126.1%)、韓国29千枚(同100.3%)、ベトナム35千枚(同62.1%)、香港3.5千枚(同33.0%)、フィリピン実績なしであった。</p> <p>○輸出動向については、現時点においても輸出量の好調さは継続中で、ヌバック等の需要がその要因と言われている。しかし、海外タンナーに在庫が増加しているとも言われている。</p> <p>○先週開催のあった上海レザーショー盛況であった模様。</p>																										
3.レンタル	<p>①油脂等</p> <p>○7月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂価格は前月・前年とも同価格の88円(前年比100.0%)となった。牛脂は前月・前年とも同価格の93円(同100.0%)。牛脂26ヶ月、豚脂は15ヶ月長期保合。</p> <p>○7月マレーシア産パーム油相場は、生産増加予測と、低い水準の在庫の強弱材料が交錯し90円と若干下げとなった。(前月比97.8%、前年比108.4%)。しかし、シカゴ大豆相場の上昇と、輸出需要増加により7月後半より価格は上昇傾向である。</p> <p>○8月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比-1円となった。工業用油脂は前月と同様の47円/kgの前年比5円安。</p> <p>○8月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の63円~66円/kg辺り。前年比3円安。</p>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年8月1日</td> <td>88</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成26年8月1日	88	93	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88									
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
平成26年8月1日	88	93																								
平成27年7月1日	91	93																								
平成27年8月1日	93	93																								
平成28年6月1日	93	88																								